



ニュース&トピックス

石川先生の『親の会』を開催します

日時：6月20日（木）

場所：NPO法人しずおか福祉の街づくり研修室

当日は、石川先生のお話の他、皆さんからのご質問・ご相談にお答えしていきたいと思っています。ぜひ、ご参加ください。

駐車スペースについて

- ① トライアングルの裏に駐車スペースをご用意しています。駐車が10分以内の場合はご利用ください。
- ② 駐車時間が10分を超える場合は、お近くの有料駐車場をご利用ください。
- ③ 表側に一時停車する場合は、1階のテナントさん・ご近所のご迷惑になりますので、テナントさんの入り口付近を避けてトライアングルの入り口前に止めるようにお願いします。

トライアングルの追加募集を始めました

随時、受付をしておりますので、ご希望の方がいらっしゃいましたらご紹介ください。

ご意見・ご感想をお寄せください

第1回目のニュースレター、いかがでしたか。まだ、至らない点がたくさんあるかと思いますが、今後さらに内容を充実させていきたいと思っています。

そこで、皆さんのご協力をお願いします。ご意見・ご感想等、なんでも結構です。下のメールアドレス宛にどしどしお送りください。よろしくお祈りします。

triangle@shizuoka-fukushi.or.jp

くち なしの香りが漂う季節になりました。放デイ『トライアングル』を立ち上げて早1カ月。皆様のご理解・ご協力を得てようやく歩みはじめることができました。隔月でお届けするニュースレターでは、障がい児教育のスペシャリストである香野・石川両先生のお話やトライアングルでの子どもの様子・育児のヒントなどを取り上げ発信していきます。仕事や家事・育児にお忙しい毎日だと思いますが、ぜひご覧ください。

トライアングル開設にあたって

静岡大学 教育学部 特別支援教育 教授 香野 毅

十数 年前には障害のある子どもが安心して過ごせる放課後の居場所はありませんでした。放課後学童クラブといわれる学童保育の歴史は古く、1940年代にはその前身を見ることができます。その後、1960年代にいったん政策化が図られましたが紆余曲折があり、ようやく1998年に放課後児童健全育成事業として法制化され、現在の形に至っています。この事業の目的は、保護者が就労等で家庭にいないものに対して、児童厚生施設等を利用して、適切な遊びや生活の場を与え、健全育成を図ることです。地域の児童館や小学校の空き教室などを利用した学童保育は日常の光景となりました。



ところがここに特別支援学校の子どもたちは通うことできませんでした。その地域の学校にある支援学級の子どもの利用を断られたという事例も少なくありませんでした。少し距離を置いてみれば、確かに学童保育の持っている人的、物的環境や制度では、障害のある子どもの受け入れを拒まざるを得ないのかと思われましたが、障害を理由とした制限は、現在の障害者差別解消法の理念からみても、まったく同意できるものではありませんでした。そのようななか2000年あたりから障害のある子どもを対象とした、かつ障害のある子どもを抱える家族を対象とした福祉サービスが急速に整備されることになりました。これが現在の放課後等デイサービスです。

ここでは子どもには療育や生活の充実を、保護者にはレスパイト（小休止を意味する）という負担



軽減を、同時に提供します。それまで障害のある子どもをもつ保護者が日中に就労することは極めて難しいことでした。「家事や子育てに専念」ということが選択肢なしに強いられてきたのです。

静岡市で放課後デイサービスが始まったとき、保護者と一緒に市役所に陳情にも行きましたが、まずは市内4か所からスタートしました。利用可能日数は、月に3日くらいでした。そこから毎年のように新しい事業所ができ、この10年あ

まりでずいぶん状況が変わってきました。今ではほとんど毎日、利用することができますし、事業所を選べるころまでできました。でも本音をいえば地域の学童保育も利用可能になって、選べるころまで行かねばと考えています。

さてトライアングルを開所しました。トライアングルは、家庭、学校、放デイの3者から描かれる三角形をイメージしたネーミングで、中心には子どもがいます。やりたいこと、目指したいこと、大事にしたいことは、また別の機会に発信します。その前に何ができるのか、取り組めるのかを学ぶ時間をいただければと思います。そしてみなさんのご協力もいただければと思います。これからよろしくお祈りします。

●●●●●
スタッフ紹介



岩崎桂子先生

5人兄弟・姉妹の4番目に生まれる
家族：娘2人・息子1人
趣味：菓子作り・手芸・編み物
特技：忙しさを楽しめる
好きなこと：韓流・華流ドラマ鑑賞
苦手なこと：料理・片付け
やってみたいこと：大道芸クラウン
悩み：胃痛・頭痛・腰痛・便秘
欲しいもの：どこでもドア
行きたいところ：台湾
目標：ベストではなくベターに生きる・欲張らずに等身大のできることをやる・「これで良かった」と思える人生を送る

一言：忘れっぽくて、おっちょこちょいな私ですが、「まあ、いいか」と自分を許しながら生きています。どんな自分でも受け入れて、「いいぞ、私！」と自分を褒めて生きていきたいと思っています。

教室のひとこま



磁石のついたプラスチックで壁にお絵かきです。完成した作品を先生たちに褒められ、うれしかったね。



壁に貼った段ボールにお絵描きです。最初は見ていた子ども、真似をして参加しました。



希望する子には宿題の指導をしています。この日は、香野先生にみてもらいました。



チラシの紙吹雪がきれいに舞って大感激！楽しんだ後は、みんなですっかりお掃除もできました。

教室の様子はホームページでも紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

家庭で使ってほしい育児のヒント

上下 はそのまま左右を反転させた文字を鏡文字といいます。5~6歳までの子どもが無意識に鏡文字を書くことが知られていますが、小学生でも鏡文字を書く子が時々見られるようです。そんな時、トライアングルでは点線や薄い文字のガイドラインをなぞる練習を続けてもらっています。普通、ひと通りできるようになったらそれでよしとしてしまうことが多いのですが、実は、人が能力を獲得する上で大事なものは、できるようになった後も練習を続けることです。この練習し続けることを専門用語で過剰学習といいます。過剰学習は、練習したことを定着させる脳内物質を変化させるということが、最近の研究で分かってきました。やみくもに、「しっかりやりなさい！」などと叱らずに、ドリルをコピーして繰り返し練習できるように励ましてあげてください。きっと克服できるはずですよ。これは、どんなことにも応用できますから、お父さん・お母さんもぜひ！

スタッフのオススメ～絵本編～

子ども もはみんな絵本が大好きです。「じっとしていなくて・・・」と嘆くことはありません。ちらっと絵を見るだけでも十分です。子どもには読み手の声が聞こえ、その声は言葉の引き出しに入っていきます。また、日常生活では経験できない場面に出会い、イメージする楽しさを味わうこともできるでしょう。

今回、紹介する絵本は『ねずみくんのチョコッキ』。ねずみくんシリーズの1冊です。ねずみくんのおかあさんが赤いチョコッキを編んでくれました。赤いチョコッキはねずみくんにぴったり。そこにあひるくんがやって来て「ちょっときせてよ」と、チョコッキを借ります。次から次へと動物が現れては赤いチョコッキが渡されていき……。繰り返しの楽しさと変化するおもしろさ、そして創造していくという発展性を持った内容がゆったりと流れていく良書です。ねずみくんのお話は既に読まれた方も多いと思いますが、シリーズで30冊以上出版されています。ぜひ他のものも読んでみてください。作：なかえよしお 絵：上野紀子 ポプラ社 本体価格：1,000円（徳田 登志子）



編集後記 A君のガムテープを無理やり取ろうとしたM君は、「使い終わるまで待ってね。」と言われ不満顔です。「偉いね、ちゃんと待ってられるんだね。」と褒められた顔が心持ち緩んだのは、そのすぐ後でした。「承認欲求を満たしてあげてことをまず考える。」と、理事長や石川先生に教えられました。子どもはすぐに変われないかもしれないけれど、こうしたことの連続が成長につながっていくんだと思います。理屈ではなく、子どもの気持ちを大切に教えてあげたいと心から思った瞬間でした。(M)

トライアングル
放課後等デイサービス

特定非営利活動法人 しずおか福祉の街づくり

放課後等デイサービス トライアングル

〒420-0032 静岡市葵区両替町1丁目7番5号 放生館2F

TEL：054-273-1177 FAX：054-266-4037

ホームページ：https://www.shizuoka-fukushi.or.jp/

メールアドレス：triangle@shizuoka-fukushi.or.jp